

平成 24 年 3 月 1 日
新日本製鐵株式会社

インドネシア ラティヌサ社 競争力向上対策を実施

新日本製鐵株式会社（社長：宗岡 正二 以下、「当社」）の連結子会社で、インドネシア唯一の容器用鋼板（ブリキ）の製造・販売会社であるラティヌサ社（PT. Pelat Timah Nusantara 略称：Latinusa）は、更なる競争力向上を目的とした能力増強・品質向上対策を実施しました。

同社は、今回の対策による更なる競争力向上をもとに、インドネシアの旺盛なブリキ需要を確実に捕捉し、マーケットでのプレゼンスの拡大を実現していきます。

【競争力向上対策の概要】

生産能力拡大

モーター更新によるラインスピード向上による能力拡大
（対策前 13 万トン/年 現状 16 万トン/年）

品質対応力向上

錫メッキプロセス全不溶性陽極システム化（* 1）等によるメッキ付着精度の向上および製造可能品種の拡大（* 2）。

* 1：従前の錫の溶性電極を用いる方式と比較して、板のメッキ量分布の均一化が可能となり、メッキ付着精度が向上した。

* 2 新たに厚目付け高耐食性ブリキ（Ex.#100 ブリキ）の製造が可能となった。

投資額

約 16 百万ドル

（参考）ラティヌサ社の概要

- ・設立 : 1982 年
- ・代表者 : President Director / Ardhiman TA
- ・所在地 : （本社）ジャカルタ
（工場）チレゴン（ジャカルタ西 約 100 km）
- ・資本金 : 1019 億ルピア（約 10 億円 100 ルピア/円）
- ・株主 : 当社 35%、三井物産（株）10%、（株）メタルワン 5%、日鐵商事（株）5%、PT. Krakatau Steel 20.1% 他（2009 年 12 月、新日鐵の連結子会社化）

【ラティヌサ社 錫メッキライン】



(お問い合わせ先) 総務部広報センター TEL:03-6867-2146